

経営比較分析表（令和6年度決算）

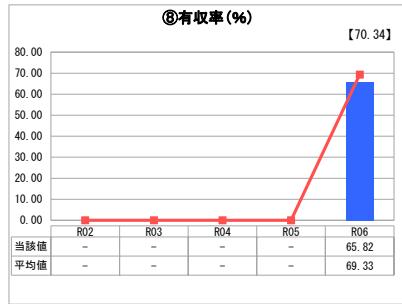
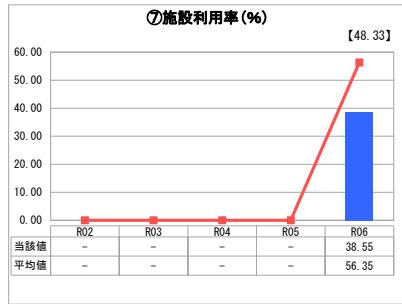
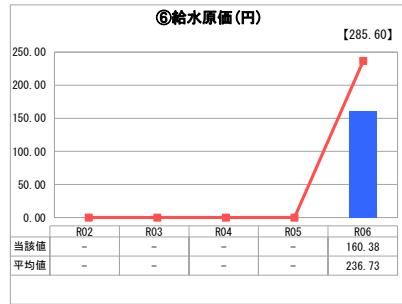
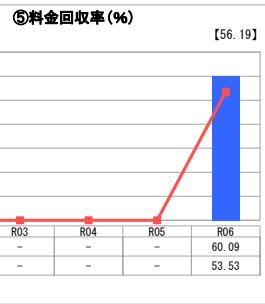
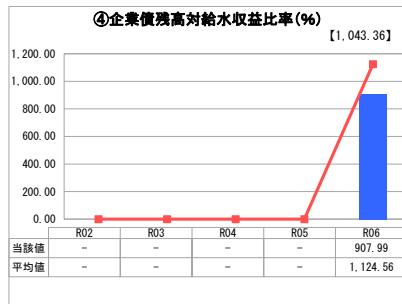
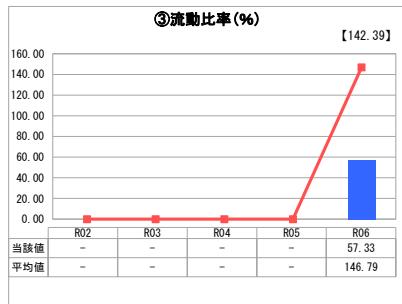
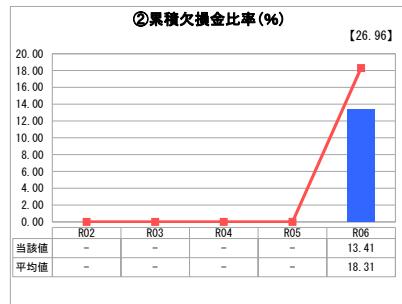
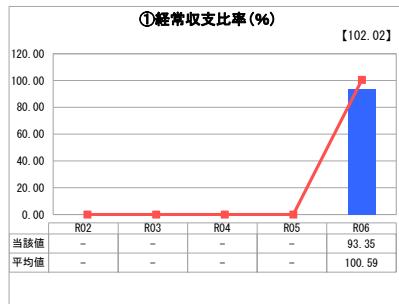
群馬県 埼玉村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	52.57	61.58	1,606	

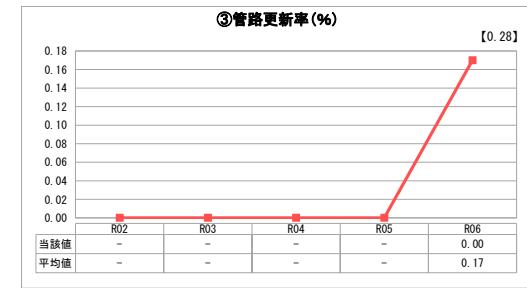
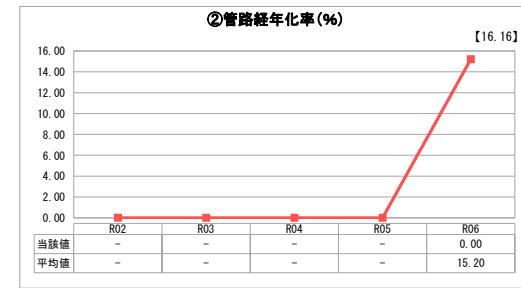
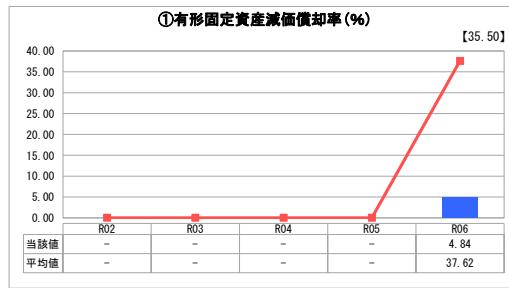
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,073	337.58	26.88
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,604	33.74	166.09

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 各指標の分析
 - ①収益の収支比率 平均より低い値。要料金改定。
 - ③流動比率 平均より低い値。要料金改定。
 - ④企業債残高対給水収益比率 類似団体と比較すると同等。工事単価が上昇したことにより起債残高が増加傾向にある。今後は公営企業会計移行に伴い資産内容が明確になることからより計画的な投資を行っていく必要がある。
 - ⑤料金回収率 類似団体並み。今後も更なる費用削減に取組む必要がある。
 - ⑥給水原価 類似団体と比較して低いが物価高騰の影響で上昇傾向にあるため効率的な投資を行っていくことが必要である。
 - ⑦施設利用率 類似団体よりも低い数値であるが人口減少や節水意識の高まりによる使用量の減少に対応するため施設の統廃合やダウングレーディング等の検討を行う必要がある。
 - ⑧有収率 漏水調査の実施と管路更新を行っていく必要があります。
- 現状、課題
 - ①収益の収支比率 平均より低い値。要料金改定。
 - ②改善に向けた取り組み 節水意識の高まりや人口減少により料金収入が減少傾向であり、経費削減の一層の努力と、老朽化する施設の把握と更新を効率的に進めることで「経営戦略」を策定し、より計画的に施設の更新を進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- 現状、課題
 - 資産台帳整備と管路図のデジタル化等により老朽管の把握が進んできている。今後は更新計画を明確化して効率的に更新を行っていく。
 - 改善に向けた取り組み 管路の更新を中心で行ってきたが、配水池等その他の施設の更新が必要となってきた。配水池の更新は費用負担が大きいため施設の統廃合も検討しながら行う必要がある。
 - また衛星を利用した老朽診断を実施。効率的な更新を図る。

全体総括

- 課題
 - 人口減少や節水意識の向上により料金収入の減少が予想される中、老朽化施設の更新を効率よく実施していく必要がある。
 - 改善に向けた取り組み 公営企業会計移行により、資産内容が明確になることから、長期的な施設更新計画を策定し、持続可能な水道事業の運営を図る必要がある。
 - 早期に経営戦略を改定し、基盤の強化を図る。